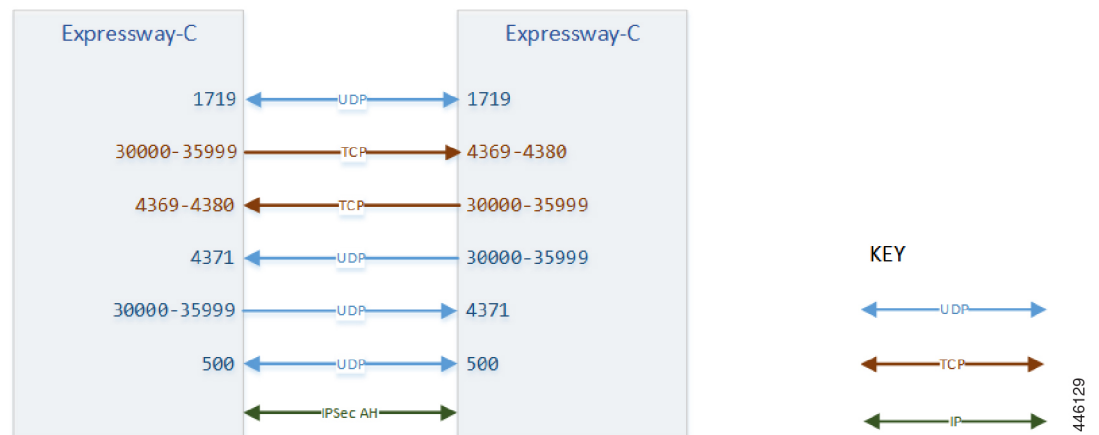




クラスタ接続

- X8.8 より前のクラスタ接続 (1 ページ)
- X8.8 より前のクラスタポートリファレンス (2 ページ)
- クラスタ接続 X8.8 以降 (2 ページ)
- クラスタポートリファレンス X8.8 以降 (3 ページ)

X8.8 より前のクラスタ接続

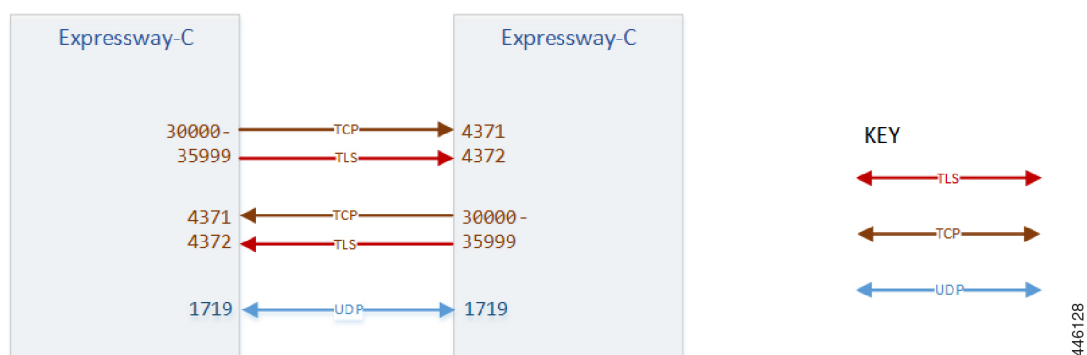


X8.8 より前のクラスタポートリファレンス

表 1: クラスタの同期と通信

目的	送信元IP	送信元ポート	プロトコル	宛先IP	宛先ポート
クラスタ データベースの同期 (IPSec AH)	このピア	該当なし	51	その他のピア	該当なし
ピア間のキー交換 (ISAKMP)	このピア	500	UDP	その他のピア	500
クラスタリカバリ	このピア	30000 ~ 35999	UDP	その他のピア	4371
クラスタ通信	このピア	30000 ~ 35999	TCP	その他のピア	4369 ~ 4380
帯域幅管理 (Expressway-C クラスタのみ)	このピア	1719	UDP	その他のピア	1719

クラスタ接続 X8.8 以降



クラスタポートリファレンス X8.8 以降

表 2: Expressway-C クラスタデータベースの同期と通信

目的	送信元IP	送信元ポート	プロトコル	宛先IP	宛先ポート
クラスタリカバリ	このピア	30000 ~ 35999	TCP	その他のピア	4371
クラスタ通信	このピア	30000 ~ 35999	TLS	その他のピア	4372
帯域幅管理	このピア	1719	UDP	その他のピア	1719

表 3: ピア間でルーティングされる SIP コール (図には表示されていません)

目的	送信元IP	送信元ポート	プロトコル	宛先IP	宛先ポート
SIP TCP シグナリング	このピア	25000 ~ 29999	TCP	その他のピア	5061
SIP TLS シグナリング	このピア	25000 ~ 29999	TLS	その他のピア	5061
RTP/RTCP	このピア	36000 ~ 59999	UDP	その他のピア	36000 ~ 59999
帯域幅管理 (Bandwidth management)	このピア	1719	UDP	その他のピア	1719



(注) Dbxsh は、ポート 4370 を使用してローカルループバックアドレス上のクラスタ データベースに接続するスクリプトです。Dbxsh は、コマンドを実行する前にデータベースを認証する必要がありません。ポートは接続用に開いており、内部使用のみを目的としています。これはルートからのみアクセスできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。